



とび出せ 新飯田たんけんたい

～ 新飯田の宝さがし ～ (3年生) 新飯田小学校

わたしたちの住まち新飯田。ここには、わたしたちの大好きなものがたくさんあります。でも、まだまだ知らないことがあるようです。新飯田のいいところ、新飯田の宝をもっとたくさん見つけたい！みんなで調査に出発です。

梨づくり名人佐藤さん

新飯田では、広い土地を利用して、梨やぶどうなどの果物づくりが盛んです。おいしい果物を作るために、佐藤恵潤さんは、一年を通して果樹の剪定や除草、袋かけなどに取り組んでいます。



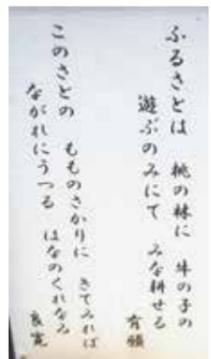
収穫までには、
たくさんの仕事を
するんですね。

4月には、花粉付け、7月には、袋かけを体験しました。普段何気なく見ていた梨の袋がなぜ必要なのか分かりました。虫がこないようにするのと、きれいに仕上げるためだそうです。

9月の収穫の頃には、袋の中で成長し、ずっしりと大きい梨の実が育ちました。

有願さまと円通庵

円通庵をご存じですか？ 新飯田には、良寛さまと親交のあった有願さまゆかりの円通庵があります。新飯田小学校のルーツは、明治9年、円通庵で開校した新飯田校です。



有願会の山田泰介さんから教えていただきました。有願さまは、1738年に生まれ1808年に71才で亡くなりました。良寛さまと仲がよかったと言われてます。良寛さまは、有願さまを訪ねて新飯田に来ていたようです。

子どもの声



有願さまの修行に行った場所は、江戸や岡山、群馬、千葉、姫路などです。全国を行脚したそうです。円通庵は、一度火事があったから作られて180年くらいたったそうです。有願さまのことを知ることができてうれしかったです。

新飯田まつり

毎年6月に、新飯田まつりが行われます。調査活動や体験活動を通して、地域の伝統をつなぐ新飯田の人々のまつりにかける思いや願いを知りました。



とてもきれいな
澄んだ音色です。



知野敬慈さんから、新飯田のまつりの始まりや内容について詳しくお聞きしました。昔の人から受け継いでたくさんの地域の人の協力でまつりが続いていることが分かりました。

「小川連中」の木津吉博さん、木津宏章さん、小湊慶さんからは、おまつりで奏でられる「浜おけさ」を教えてください、日本の伝統楽器である篠笛や太鼓を体験しました。



笛や太鼓は難しいな。
大人の人は、練習をたくさん
されていてすごいな。



すてきな宝がたくさんあるね。新飯田っていいな。

感謝の会

佐藤さんをお招きして、これまでの学習の成果を発表しました。



子どもの声



わたしは、9月に佐藤さんの梨のしゅうかくに行きました。佐藤さんから、夏のうちに佐藤さん一人で15000枚も袋かけをする聞いてびっくりしました。佐藤さんの梨は、北海道や九州まで行くそうです。日本中、遠い所まで運ばれて行くことが分かりました。



ぼくは、大人になったら小川連中の笛をやりたいなと思っています。あんなに難しい笛を、木津さんはあんなに上手にふくことができていると思いました。これからも小川連中のみなさんといっしょにがんばっていきたいです。